

頑張れ管理職 No.2 目次



要旨

中小病院が地域から必要とされるために、経営戦略の視点から地域連携体制の再構築の必要性を解説しました。具体的には、制度改革の方向と地域包括ケア病棟等の各種病棟編成の取組み方、それぞれの病棟の安定した入院患者の確保の方法、効率的な多職種連携業務の構築方法、高齢者に多い慢性心不全に対する適切なケアの提供方法――以上の4つの課題を適切に改善する経営戦略について解説しています。

4 本の頑張れ管理職の概要 [1.00～]

経営・事務管理者対象、病棟看護職対象、薬剤師対象、管理職共通の4本の概要の説明

管理者の器の拡げ方 [2.30～]

地域連携を担っていく上で、相手の立場に成り切ることで、自分の器を拡げることができる

中小病院に必要な経営戦略の4つの視点 [6.10～]

制度改革の動き等の捉え方の視点、業務設計の視点、業務移行計画の視点、収支管理の視点について

それぞれの病棟の今後の取組み [8.00～]

後手に回らないために堅実に進めていく経営戦略について解説

各種病棟の安定運営の基本戦略 [9.45～]

これから解決すべき課題解決に向けた「各種病棟に共通した基盤業務構築」の戦略について

入院患者の安定確保の実施戦略 [12.40～]

地域の開業医と保険薬局と協同することで、地域からの入院患者を確保する仕組みについて

病棟看護職と薬剤師の業務の変え方 [14.50～]

地域連携体制を構築する上で必要不可欠な医療・介護現場の業務の変え方について

高齢者の慢性心不全患者への適切な対応からの地域連携体制の構築 [17.05～]

病棟共通基盤構築による病棟編成への対応ができ、入院患者の安定確保、新地域連携体制の構築、高齢者の慢性心不全患者への適切なサービス提供体制が構築できる仕組みについて